

平成27年度 学校自己評価システムシート (県立川越女子高等学校)

目指す学校像	「学力の向上」と「人格の陶冶」を柱に組織的教育活動を展開して進学実績の向上を図るとともに、生徒が主体的に学ぶ「質の高い授業」の創造に全力で取り組む学校
--------	---

重点目標	1 《学力の向上》生徒の学習意欲（進路意識）を喚起し、自学自習力の定着に努め、学力の向上を図る。 2 《人格の陶冶》「品格のある、志の高い生徒」「自主・自律の精神に満ちた自立した生徒」を育成する。 3 《開かれた学校づくり》関係機関との連携を更に深め、学校情報の積極的な発信に努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえ評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	23名
	事務局(教職員)	11名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (1月28日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	概して生徒の学習意欲は非常に高く、従来本校が行ってきた学力向上のための取組は大きな成果を上げてきた。 今後は、それらの取組に対して職員が理解をより深め、なお一層組織的に実施していくことが必要である。	進路希望実現に対応した継続的・体系的な学力向上対策の推進	①自己理解と進路設計のための総学や進路ガイダンスの実施 ②学習OT等の内容や時間設定について検討し、年度当初の授業確保を図る。	①効果の実施の有無 ②検討と計画策定の有無	学習OTの内容等の検討も始まり、目的をほぼ達成できた。 ①1年生を中心に総学で「職業研究」「学部学科研究」「文化レポート」を実施。進路ガイダンスも予定回数を実施。 ②学習OT検討小委員会を立ち上げ計画案を作成。	A 1年次に広く進路について学ぶ計画は効果的に機能しており、今後も継続していく。また、新たな学習OT計画については、実施後の検証を行い、必要に応じて改善を進める。
		学習状況・進路情報の共有	①教職員、生徒、保護者への研修会、説明会の実施 ②志望校検討会の実施とその効果的活用 ③授業相互参観の実施とその効果的活用	①実施の有無 ②実施とその活用の有無 ③実施とその活用の有無	教職員、生徒、保護者が必要とする情報を共有し、活用した。 ①教職員進路研修会2回、保護者のための進路勉強会5回、生徒対象大学説明会5大学実施。 ②志望校検討会を2、3年生で実施した。 ③授業相互参観72件の実施。	A 大学入試の多様化や高大接続に係る教職員研修を継続実施する必要がある。また、授業相互参観、特に他教科の参観について今後も推進していくことで、学習状況の把握に努める。
		指定事業の活用	①SSH事業の継続と効果的活用 ②「リーダー育成・進学指導重点推進校」の効果的活用	①予定内容の実施と継続 ②予定内容の実施と生徒へのフィードバックの有無	SSH第3期申請も終え、各事業とも効果的に実施できた。 ①予定内容を実施し、生徒は活発に活動。継続申請書を提出済み。 ②教育局主催の生徒向け研修会に全て参加。延べ20人。	A 第3期SSH及び進学重点新規事業(骨太のリーダーを育成するための埼玉版リベラルアーツ事業)を活用するなどして、生徒が希望する進路の実現をめざして、学校を挙げて取り組んでいく。
2	本校では多くの生徒が多様な活動に自主的かつ積極的に取り組んでおり、この規律ある生徒の取組を継続させていくことが求められている。 生徒が安心して自主的活動を行えるよう支援するとともに、生徒の内面により働きかける指導が必要である。	自主・自律の精神に満ちた自立した生徒の育成	①外部指導者を活用した講義・講演を行い、人間的成長を促す。 ②分掌と学年、顧問と担任等の連携を密にする。	①実施の有無 ②効果的な連携の有無	出張講義の参加人数がやや減少傾向にある。 ①SSH及び学習指導部主催の出張講義を文系、理系バランスを考え、計10回実施。 ②教員間の連絡調整に努め、必要な情報について共有を図った。	B 実施行事が多いことにより、参加者が分散傾向にある。一方、生徒が自ら必要なものを選ぶ態度を育成する下地となっている。参加しやすい時期の検討を行っていく。
		安心・安全に多様な活動を行うための環境づくり	①教育相談の充実と教育相談連絡会議の実施 ②ネットトラブル防止を目的とした講演会、研修会の実施	①教育相談及び会議の定期的実施の有無 ②実施の有無	対応や声掛けについて教職員向けの研修会も行い、きめ細かな教育相談の充実を図った。 ①計画通り実施。 ②講演会1回、教職員研修会1回実施。	A ネットトラブル防止については、新たな端末やアプリケーションの増加に伴った生徒への啓発内容の検討を引き続き行う必要がある。
3	これまで小学校、中学校、大学等と積極的な連携を図りながら、開かれた学校づくりを進めてきた。 今後は、従来の活動に加え、本校の教育活動や生徒の様子を幅広く情報発信していく必要がある。	学校ウェブページの充実	①内容の検討と充実 ②保護者用ページ設置の検討と試行	①週1回以上の更新 ②試行の有無	ウェブページに事務室のページや英語版を掲載し、内容の充実を図った。 ①週1回以上の更新を実施。 ②保護者用ページは作成したが、運用について検討中。	B セキュリティ等の問題を明らかにし、他校の状況など情報を収集して、保護者ページ運用の実現を図る。
		小学校、中学校、大学等との連携の充実	①小学校、中学校での学習支援活動の実施 ②SSH事業を通じた小学校、大学との連携の実施	①実施の有無 ②実施の有無	予定通り実施した。 ①小中学校との交流事業計3回実施。 ②わくわく科学教室、科学クラブ支援、大学研究室訪問を実施。	A 地域や小中学校、大学との連携は生徒への教育効果は大きく、今後も継続して実施する予定である。

学校関係者評価
実施日 平成28年2月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分たちの授業をより良くしていこうという姿勢は素晴らしいと思う。 川越女子高校の生徒は本当によく勉強していると思う。 授業には、受動的ではなく、予習で自分が明らかにしたいポイントをはっきりさせて臨み、能動的に、そして批判的思考を持って受けてもらいたい。 生徒自身が授業に積極的に取り組むための科学的な手立てや取組を考えてほしい。 将来何が必要になるかわからない、文理を問わず広く学んでほしい。 新聞を活用する学習は、進路選択などの機会にもなり、とても良いと思うので継続してほしい。 小・中学校の授業では、ねらい・目的をはっきりさせて授業を行っている。高校でもその点を考慮して授業を実施してほしい。 文系の生徒も積極的にSSH行事に参加し、理系に強い文系の生徒が育ててほしい。 SSHが継続されることを期待する。 生徒がとてもしっかりと意見を発表することに大変驚いている。 「自律」には自己責任が伴うが、高校時代から意識することは重要である。 選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことを踏まえ、「人格の陶冶」といった観点からも、有権者として必要な政治的教養を身に付け、有効に選挙権を行使してもらいたい。 川越女子高校の生徒はよく挨拶をしてくれる。 信頼する先生に相談できることは大変ありがたい。これからも心の悩みに対応する開かれた先生であってほしい。 ネットトラブルは社会全般で問題となっている。引き続き注意喚起をお願いしたい。 HPは学校の様子がよくわかるので、よく見ている。更に充実を図り、同窓会などの記事の掲載についても検討してほしい。 小・中学校等、地域との交流事業は引き続きお願いしたい。中学校側としても、効果的な学習会になるように更に内容を充実させていきたいと考えている。